

2015年2月10日

KNTーCTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：森川
TEL：03-6891-6839

旅行取扱状況の概観（平成26年12月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取扱いは、一般団体は前年比82.2%、学生団体は同97.2%と、団体旅行合計で同90.3%と前年を下回った。企画旅行については前年比77.7%と前年を下回ったものの、個人旅行については同105.3%と前年を上回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比88.2%と前年を下回った。

国内旅行の取扱いは、一般団体は前年比83.4%と下回った。学生団体は同110.8%と大きく上回ったが、団体旅行合計では同98.7%と前年を下回った。企画旅行については前年比95.6%、個人旅行については同103.6%と前年を上回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、97.9%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比86.1%と前年を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の12月の総取扱額は前年比94.2%となり前年を下回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は昨年実施した大型の職場旅行や招待旅行の反動があり、前年比79.6%と前年を下回った。学生団体は同97.2%とやや下回った結果、海外団体旅行合計で同89.2%と前年を下回った。

国内団体については、一般団体は前年比83.7%と前年を下回った。学生団体は修学旅行の取扱いが堅調に推移し、同110.8%と前年を大きく上回ったが、国内団体旅行合計では前年比98.9%と前年を下回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱額で前年比90.5%と前年を下回った。方面別取扱人数の状況では、九州方面が好調を維持しており、関西・南紀方面が比較的好調に推移した。低価格帯商品のラインナップを縮小させた影響もあり全般的に伸び悩んだ。

ホリデイは、引き続き東アジア方面を中心として全般的に不調である。各方面とも低価格帯商品のラインナップを縮小させた影響もあり、全体の取扱人数、取扱額とも前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、急激な円安やエボラ出血熱の影響もあり、前年比89.6%と前年を下回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、関西方面のイルミネーション企画やハウステンボスを中心とした九州方面が好調に推移し前年比101.0%と前年を上回った。

バス旅行部門は、日帰りのイルミネーション企画などは好調に推移したものの、前年比93.4%と前年を下回った。

テーマ旅行部門は巡礼をはじめとして好調に推移し、前年比102.0%と前年を上回った。

以上